

【ポスター作成のポイント】

(1) ポスター発表をはじめて行う先生方へ

★ポスター発表の良い点

- 研究内容をゆっくり、多くの人に、何度でも見てもらうことができる
- 状況によっては多くの人と長時間議論し交流することができる
- 口演より多くのデータを掲示することが可能である

★ポスター発表の悪い点

- 準備に時間がかかる（ときにはお金がかかる）
- 印刷して持参するので発表ギリギリまで内容を煮詰めることができない

★ポスターの基本構造

- 構造は抄録と同じです

【タイトル】、【目的】、【方法】、【結果】、【考察】、【結語】の6つで構成します

※症例報告は【症例】、【現病歴】、【所見】、【治療・経過】に代えてもよいです

- ポスターの基本構成

「タイトル・所属・氏名」部分と「本文・図表」部分に分かれます。指定されたポスターサイズを自由に利用しますが、下方スペースは読みづらいので下から30cm程度はスペースを空ける方が望ましいと言われます。左右スペースもあまりギリギリまで使用するのとは好ましくなく、バランスを考えると少なくとも5cm程度は余裕が必要です

- タイトル・所属・氏名

タイトルはプログラム抄録集に掲載されたタイトルを使用します。勝手な変更は出来ません。なるべくわかりやすく大きな文字（48 フォント以上）で作成します。「所属・氏名」はタイトルよりも少し小さな大きさ（36 フォント以上）とし、発表者名の前に「○」またはアンダーラインをつけると、誰が演者なのかわかりやすくなります

- 演題番号のスペースを忘れない！

演題番号を勝手に変えたりするのはご法度です

- 本文・図表など

ポスター発表の基本は、読んだだけで発表内容が理解できることです。説明がなければわからないポスターはNGです。ご自分がその場にいる時でも、ポスターが読まれていることを考えて以下の項目を作成しましょう

- 目的

発表内容が、これまで報告された研究でどのような意味を持ち、今回新しく明らかにする部分は何か？研究目的が何であるかを簡単に説明します。字数に余裕があれば【背景】で研究の背景等を詳しく説明すると今回の研究の意義が明確になる場合もあります。研究目的は単純な方がわかりやすいです。抄録に書いた目的と全く同じ文章を使うよりは、スペースに余裕があるので、抄録以上の内容（背景含む）を記載した方が、見る人が興味を持ちやすくなります

- 方法

研究や治療がどう行われたか、またどのような根拠で効果を判定したのかをなるべく詳しく、わかりやすくなるように図などを取り入れます。「臨床研究」では、対象や人数、評価方法や解析方法を詳細かつ明確に記載します。「症例報告」では病歴や病態、所見、治療方法などを詳細かつ明確に記載します。研究や症例の特徴がはっきりするように工夫します。省略語を用いる場合は必ず説明してから用います

- 結果

主要な結果はグラフや表にまとめると分かりやすくなります。グラフや表の大きさは A4 サイズ程度（内容により多少異なる）にして、その直下に説明や見方、場合によっては具体的数値を記載します。原則として「方法」で記載した内容に対する「結果」はすべて記載することが望ましいとされています

- 考察

目的（仮説）と結果を関連させながら事実を説明し、そこから考えられることを理論的に考察して記載します。あくまでも「結果」に基づくものであり、「結果」を逸脱して推論を重ねることは NG です。余裕があれば研究（症例）が抱える問題点や課題等も記載します

- 結語

研究（症例）のポイントを端的にまとめます。理想的な結語は、読んだだけで演者の意図が明確になることです

★ポスターのサイズ

A4、A3 サイズで作成したものを一枚一枚掲示するか、一枚刷り印刷（ネット注文が主流）のものを掲示するかのいずれかです。A4 なら 12~21 枚程度で 3 段組、A3 なら 8~10 枚程度で 2 段組が定型的な掲示パターンです。もちろんわかりやすくなるのであれば配置を多少変更することは可能です。見る側の気持ちを考えて工夫します。一枚刷り印刷は A0 (84.1cm×118.9cm) や B0 (103cm×145.6cm) が一般的です。ネット印刷で 1500~6000 円（印刷する紙質による）必要です

★ポスター本文のフォントサイズ

1~2m 程度離れても読みやすいフォント数（28≦が理想）を心がけます。字体は明朝体よりもゴシック体の方が見やすいとされますが決まりはありません。小さなフォントを使う場合は読みやすいゴシックを使います

図表や本文の色に関する決まりもありませんが、なるべく同系の色の多用は避けます。特に赤や緑は色覚異常がある方は見づらいです。文字を浮き上げるようにする場合には、青と水色の同系色でなく、紺と白、深緑と白のように全く離れた色にします

(2) ポスター作成自己チェックリスト

* ポスターを印刷する前に、必ず以下の項目をチェックして下さい

- 説明を聞かなくても、ポスターを読んだだけで内容がわかる
- 研究内容に倫理的な問題がない
- 【目的】、【方法】、【結果】、【考察】、【結語】が記載されている
- 症例数や対象人数が記載されている
- 結果が数値等で示せるものはなるべく具体的に示す
- 【タイトル】、【目的】、【方法】、【結果】に基づいた【考察】や【結語】である
- ポスターのフォントが小さすぎない
- 色覚異常がある参加者にも配慮した配色である
- 1~2m 離れてもポスターが読める
- 誤字脱字がない

【おわりに】

ここに記載した内容は、あくまでも本学術集会用ポスター作成の参考資料です。他学会では各学会の運営事務局の指示に従ってください